

机機道中記

<目次>

○はじめに

○第 85 回：場所未定（中止）

○第 86 回：東海道本線（愛野＝掛川）

○第 87 回：江ノ電（藤沢＝鎌倉）

○第 88 回：東急目黒線（目黒＝大岡山）

○ あとがき



2022年(令和 4 年)12月

檜原 勉

〇はじめに

“わいわい道中記”は、2007年12月に立ち上げ、わいわい会（高松一高同窓歩き会）の活動内容を、私の独断と偏見の視線から、暦年単位でまとめた手記記録です。月日の流れは早いもので、2022年版でシリーズ第16号（第85回～第88回）となります。

ただし、本年はコロナ禍の影響の中、第85回（3月開催予定）は中止としましたが、第86回、第87回そして第88回とウイズコロナの下、賛同を得たメンバーで用心に用心して、何とか3回連続して開催でき主幹事として大変喜んでいきます。なお、第77回から第88回までの開催の状況は次の通りです。

わいわい会 No	日時	実施可否	参加人員
第77回	×	×	
第78回	×	×	
第79回	×	×	
第80回	2020年11月28日（土）	○	6名
第81回	×	×	
第82回	×	×	
第83回	×	×	
第84回	2021年12月4日（土）	○	8名
第85回	×	×	
第86回	2022年7月21日（木）	○	11名
第87回	2022年9月29日（木）	○	3名
第88回	2022年11月29日（火）	○	9名

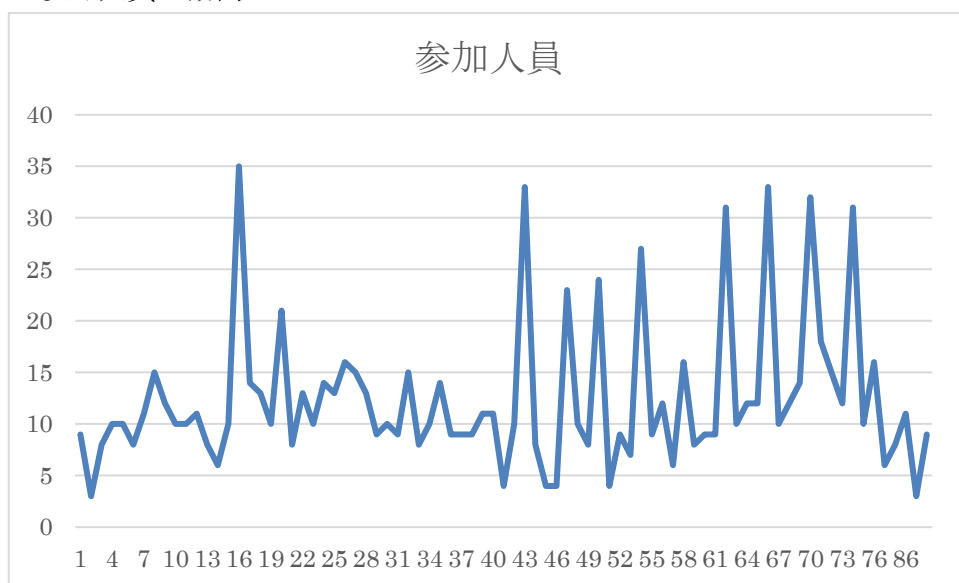
現在、コロナと向き合いながら、更なる目標である100回を目指し、邁進中です。引き続き、一層のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

“わいわい道中記”の作成の主な趣旨は、言うまでもなく当会参加者に対するモチベーションの向上、そして母校（高松一高）や関西桜紫会の新規会員へのニード喚起、さらには会員以外の第三者への母校に関する発信です。

わいわい会は、ご承知の通り、関東在住の母校のメンバー（第35回目からは故郷や関西等からも参加）を中心として、遠足気分で“わいわい”と語りながら一日歩いて楽しむ親睦会です。当然ながら、わいわい会はボランティア活動と自己責任に

よる活動を基本原則としています。それ故、各位の体力などに応じどこからの参加も可能だし、途中でリタイアも可能。そして反省会だけの参加も可能です。2000 年 11 月を皮切りに、都合 88 開催（うち 7 回は中止、通算参加人員 1,009 名、通算営業キロ 739.6 km）しました。

<参加人員の動向>



わいわい会の産物は、“わいわい道中記”だけではありません。参加メンバーが口ずさむことができる、2012 年 7 月に誕生した“わいわい会賛歌”があるからです。このメロディーは、主幹事である私が拙い誌を描き、末澤美紀子さん（編曲・演奏）と故長町順史さん（作曲:2017 年ご逝去）のご協力を得て、誕生したものです。何回聴いても素晴らしいメロディー（CD あり）であると自負しています。加えて、高松一高関東桜紫会の同好会コーナーに、わいわい道中記シリーズとして暦年単位で掲載していたのが、2018 年、古谷光明氏のご逝去により実現が叶わくなり誠に残念です。新しいサイトにより一日でも早い再開を期待したいものです。

なお、本年のわいわい会にご登場頂いた役者の方は次の 14 名です。

<関東桜紫会>

大崎武久、檜原 勉、末沢美紀子、寺西修司、寺部雅子、伴真弓、藤本泰彦、溝縁義文、門口マサ子

<関西桜紫会>

植松良治、植松悦子、木太克之、十河信也、山下和秋

※敬称略、五十音順

○第 86 回わいわい会（2022 年 7 月 21 日（木）～22 日（金））

第 1 節 概要

2022 年 7 月 21 日（木）～22 日（金）と一泊二日にて、御前崎の旅・第 86 回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）が総勢 11 名にて実現する。今回の旅は、2022 年 4 月 12 日のカッシーブログ公開にあるように、コロナ禍の中ではあるが、ウイズコロナを鑑み、4 月中旬、賛同を得たメンバー最大 20 名で、マスク着用の上、用心に用心して開催することを計画した。そして、実施可否の決断は、コロナ禍が落ち着いていた 6 月 16 日（木）に発した。

一時は定員 20 名（応募者 24 名）に達したが、7 月に入りコロナ禍のぶり返しや家事都合などから減少関数の一途をたどり、11 名の参加人員となった。しかし、3 年振りに次の段取りで第 86 回わいわい会が開催できてよかった。

<一日目>

①愛野駅に集合し、東海道本線つたい歩き（愛野～掛川：営業キロ 5.3 km）を総勢 8 名で歩く



※愛野駅

②歩かない人3名と掛川駅で合流し、総勢11名で静鉄貸切バスでホテル玄御前崎まで移動



※ホテル玄御前崎

③ホテル界隈の荒磯で懇親会



美味しい料理が沢山登場！！

<二日目>

④ホテル前から貸切バスで御前崎灯台、なぶら市場、浜岡原子力館と観光



※御前崎灯台前



※海鮮なぶら市場



※浜岡原子力館

⑤貸切バスで荒磯まで戻り、反省会



※懇親会・反省会をした荒磯

⑥貸切バスで荒磯から掛川駅へ、そして解散

今回の旅を通じて、リスクを恐れては何も成果物は生じないと思う、主幹事として緊張の中にも楽しい楽しい二日間であった。同時にコスト高とはなったが、時間の短縮化が図れ、利便性がある[貸切バスの魅力](#)を痛感する。いい体験をさせて頂いた。それにしても旅はいいものですね。至福のひと時であった。[風光明媚な鉄道のない町御前崎](#)を総勢 11 名で旅でき、ご参加頂いたメンバーにこの場をお借りし厚く熱く御礼を申し上げます。続く！！

第 2 節 鉄道つたい歩き

2022 年 7 月 21 日（木）晴れ、第 86 回わいわい会が総勢 8 名参加の下、東海道本線（愛野～掛川：営業キロ 5.3 km）つたい歩きにて実現する。8 名のうち、東京・神奈川が 4 名、地元が 1 名、大阪が 3 名であった。



※愛野駅への路

愛野までの移動、東京から熱海までのダイヤが大幅に乱れていたため、当初のダイヤではなく、早め早めのダイヤで臨む。それ故、残念ながら熱海までの電車の中での合流は叶わなかった。しかし、当初の予定通り、総勢 8 名による愛野駅 12 時 20 分待ち合わせが実現する。



※掛川駅への路

結団式の挨拶後、愛野駅前で記念写真撮影後、熱中症に注意しながら、愛野駅に向けて出発する。この界限は2006年8月26日（土）袋井から金谷までの25.2 km歩いた際クリアした。この時は、掛川城を見ながら歩いた懐かしい思い出が昨日のように思い出された。



※掛川市役所までの路



※在来線と新幹線下を潜る

「わいわい」と道中3年振りのつもり話をしながら、途中適宜休憩を挟みながら、掛川駅に向かう。掛川市役所前を14時7分通過。14時21分、在来線踏切を横切り、新幹線下を潜って鉄道の右側となる。そして、鉄道に沿って歩いた先に掛川駅南口（14時43分）があった。



※掛川駅、静鉄貸切バス



※掛川駅で再度結団式（総勢 11 名で）

これで通算営業キロは、**1 万 3 千 560 km**（活動日数 663 日、日本の鉄道の 48.9%、地球円周の 33.9%）となる。加えて、本日が**カッシー館**を開設して以来、**丁度 10 歳の誕生日**となり、偶然にも私以外の 10 名の第 86 回わいわい会出席メンバーに祝って頂き、二重の喜びとなった。

第 3 節 宴会

歩かない人 3 名と掛川駅で合流し、総勢 11 名となる。待合室で暫く休息後、掛川駅前で記念写真撮影後、15 時 20 分頃、“わいわい会”と記載して頂いた静鉄貸切バスに乗り込む。



※バスからの風景

茶畑などの風光明媚な風景を見ながら、御前崎市にあるホテル玄御前崎に向かう。道路も平日のこともあり空いていたため、当初予定の1時間を大幅に短縮し、40分位の所要時間でホテルに到着できる。



※ホテル玄御前崎



※わいわい会様と張り紙がある貸切バス（ホテル前）

ホテルには 16 時頃到着。ホテルチェックイン後、2 時間位入浴等の休息を取り、ホテルロビーに 18 時集合し、皆で徒歩 30 秒の”海の幸と季節をまるごと味わう”「荒磯」に向かう。



※ホテルロビー



※宴会前の荒磯

大崎先輩の乾杯の音頭で、楽しい懇親会が開始となる。人数も 11 名とこじんまりしていたので、1 堂に会してテーブルを囲むことができる。暫く歓談後、各自

数分の持ち時間で、これまで印象に残るわいわい会や近況報告などをスピーチ頂く。



※大崎先輩の乾杯の音頭で楽しい懇親会スタート

私はコロナ禍に伴う”86回わいわい会の流れ”や、諸事情を勘案し”86回わいわい会を最後の締めとしたい旨”を申し上げるが、その直訴が認められず、引き続き主幹事継続を依頼された。ただし、山下さんと伴さんが状況に応じサポート頂くことになり、多少なりとも肩の荷が下りた。何とか、100回わいわい会の樹立を目指し頑張りたいものだ。



※懇親会の風景

あっという間に楽しい懇親会が過ぎ去る。ホテルに戻り、希望者6名で私の部屋で二次会を開催する。3年振りの話に花が咲き、深夜1時少し前で解散となる。楽しい楽しい二次会であった。



※荒磯のボトルで二次会



※荒磯のパンフレット

第4節 観光&反省会

二日目の日程は次のようなプランで活動する。下記の日程が上手く消化でき、静鉄バスの運転手の藤田様に感謝の気持ちで一杯になる。



※藤田様！！お世話になりました

朝食 7時～8時（バイキング）



※朝食前にホテル界隈散布

チェックアウト 8時20分

ホテル前（8 時 30 分）～バス移動～御前崎灯台（8 時 55 分～9 時 35 分）～バス移動～なぶら市場（9 時 45 分～10 時 25 分）～バス移動～浜岡原子力館（10 時 45 分～11 時 25 分）～バス移動～荒磯（11 時 50 分～13 時 40 分：反省会）～ホテル（14 時 00 分）～バス移動～掛川（15 時 00 分：解団式）

①御前崎灯台の観光



※地上から灯火まで 17m、平均水面上から灯火まで 54m

※初点灯明治 7 年 5 月 1 日



※御前崎灯台の展望台からの眺め



②なぶら市場の立ち寄り





③浜岡原子力館の見学

約1時間にわたり、原子力の仕組みなどを秋定様に懇切丁寧に解説頂く。わいわい会メンバー全員、心温まる歓迎に感動と感謝で一杯となる。いい勉強をさせて頂きました。この場をお借りして熱く厚く御礼も申し上げます。



浜岡原子力館への路、浜岡原子力館



※浜岡原子力館界隈の模型図、秋定様お世話になりました



④反省会

昨日の荒磯で、鰻を頂きながら、第 86 回わいわい会に関し、各自数分のスピーチを頂戴する。





⑤解団式



○第 87 回わいわい会（2022 年 9 月 29 日（木））

2022 年 9 月 29 日（木）曇り、第 87 回わいわい会（高松一高同窓の歩き会）を開催する。本日の鉄道つたい歩きは、江ノ電の藤沢駅から鎌倉駅までの営業キロ 10.0 km を総勢 3 名と少なかったが全員完歩でき実りある一日となった。



※藤沢駅



※藤沢駅

このコースは、2006 年 11 月 25 日（土）、第 24 回わいわい会（総勢 14 名）で歩いたが、本年の NHK 大河ドラマ”鎌倉殿の 13 人”放映を機に急遽思いついた。また、”日本横断歩き鉄の旅”PDF 読本の 40 編と予定しているが、色々不備が

あるのが分かり本日参加のメンバーとご一緒にリベンジさせて頂いた。コロナ禍の状況下で足元が悪い中、万難を排し、ご参加頂いた大崎先輩と溝縁先輩には、この場お借りして熱く厚く御礼申し上げます。



※石上駅への路

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

藤沢（9:45）～石上（10:02）～柳小路（10:11）～鵜沼（10:23）～湘南海岸公園（10:51）～江ノ島（11:05）～腰越（12:16）～鎌倉高校前（12:31）～七里ヶ浜（12:47）～稲村ヶ崎（13:17）～極楽寺（13:32）～長谷（13:53）～由比ヶ浜（14:11）～和田塚（14:21）～鎌倉（14:50）

①高架した線路となっている江ノ電藤沢を9時45分出発。高架下を歩き、最初の石上駅には10時2分到着。暫く歩くと柳小路駅（10時11分）があった。粹な住宅街を鑑賞しながら、淡々と歩く。10時17分、柳小路2号踏切を横切り、鉄道の左側となる。その先に鵜沼駅（10時23分）があった。



※石上駅



※柳小路駅への路、柳小路駅



※鵠沼駅

②鉄道下を潜り、鉄道の右側となる。しかし、湘南海岸公園駅への路は、境川が前方を遮り 1 km 位迂回を余儀なくされる。本日で最も苦労した区間であった。カッシー館のトップページにも登場する境川を渡るためには、この川に沿った鉄道下を再度潜り、鉄道の左側に行った先に橋はあった。また、ネットで検索したところ、若干近道になる感じであった。しかし、3 人の合意で鉄道が川に沿って走っており、途中で引き返すのはマイナスイメージのため、敢えて海岸線方向にある橋を選択する。10 時 44 分、万歩計 125 歩ある西浜橋を渡る。その先に湘南海岸公園駅（10 時 51 分）があった。ここから、道路の状況に応じ、鉄道を渡ったり戻ったりする。江ノ電の中心駅の一つである江ノ島駅（11 時 5 分）到着する。駅舎ホームにある待合室には、”江ノ島電鉄鉄道開業 120 周年”の標識があった。この駅でアイスクリームを食べ一息入れる。



※前方を境川が立ち塞がる



※境川、湘南海岸公園駅



※江ノ島駅への路



※江ノ島駅



※江ノ島電鉄鉄道開業 120 周年（2022 年 9 月 1 日）

③鉄道と線路が一体となった道筋を歩き、腰越駅を目指す。途中、鎌倉おでん”波平”で名物しらす丼を頂く。この店は、16 年前長蛇の列で立ち寄れなかったが、本日は平日かつ 11 時半前であったので運よくランチ休憩ができ最高であった。加えて 3 人で飲む大瓶のビールも。50 分位寛いでこの店をあとにする。少し歩いた先に腰越駅（12 時 16 分）があった。



※江ノ島駅、腰越駅への路、鎌倉おでん”波平”



※16年振りに波平で食事叶う



※腰越駅

④腰越駅を少し歩くと、海岸線に出る。海岸線を淡々と歩き、鎌倉高校前駅には12時31分、七里ヶ浜駅には12時47分到着。13時7分、音無川を渡る。海岸線から坂道を上り、200m位戻った先に稲村ヶ崎駅（13時17分）があった。



※鎌倉高校前駅への路、鎌倉高校前駅



※七里ヶ浜駅への路、七里ヶ浜駅



※七里ヶ浜駅、音無川



※稲村ヶ崎駅

⑤稲村ヶ崎駅に立ち寄った関係で二人の先輩と逸れる。それ故、鉄道の右側を速足で歩く。13時22分、鉄道を横切って右側となる。その先で追いつきホットする。極楽駅には13時32分到着。この駅には、「北条義時と鎌倉殿の13人」を記した旗があった。ここでトイレ休憩も兼ね小休止とする。近くに極楽寺があるので、十名位の下車する観光客と対面する。ここから少し歩いた先に長谷駅（13時53分）があった。この駅でも沢山の観光客と対面する。



※極楽寺駅への路



※鎌倉殿の13人の旗、極楽寺駅

⑥13時58分、新宿橋を渡り、鉄道の右側となる。14時2分、今度は左側となる。住宅街の迂回を余儀なくされる。幹線道路を100m位歩いた先で右折し、鉄道に近づき、踏切を渡った先に由比ヶ浜駅（14時11分）があった。ここから線路の右側を速足で歩く。信号があり300m位歩いた先に和田塚駅（14時21分）があった。大崎先輩から途中、和田塚（和田義盛の墓など）があるとのことで、100m位引き返し立ち寄る。



※長谷駅



※由比ヶ浜駅への路



※由比ヶ浜駅、和田塚駅への路



※和田塚駅、和田塚

⑦和田塚踏切を横切り、暫く歩いた先で戻り、直進した先で鎌倉駅に繋がる幹線道路に出る。そして、淡々の歩いた先に JR 鎌倉駅がある。鉄道下を潜って江ノ電鎌倉駅には 14 時 50 分到着。駅から少し歩いた先で粋な喫茶店があり、ここで柚ハイボールを頂き一服する。20 分位寛いだあと、江ノ電の鎌倉駅から乗車し、朝出発の藤沢駅まで移動。そして、藤沢南口にある海鮮居酒屋”いろは丸”で 2 時間位反省会する。最後に締めとして、香川の地酒”金陵”と出会い、最高的一天となった。すなわち、歩きよし、コースよし、仲間よし、日和よし、料理よし、そして酒よしと実り多い一日となった。



※鎌倉駅への路



※鎌倉駅



※お茶の喫茶店で一息

これで通算営業キロは **1万3千923 km** (活動日数 682 日、日本の鉄道の **50.2%**、**地球円周の 34.8%**) となった。同時に節目の 1万4千キロまで **77 km** と迫った。



※江ノ電藤沢駅、海鮮居酒屋“いろは丸”



※反省会（最後は金陵で締め）

○第 88 回わいわい会（2022 年 11 月 29 日（火））

2022 年 11 月 29 日（火）曇り、第 88 回わいわい会（高松一高同窓歩き会）において、東急電鉄の目黒線（無黒～大岡山：営業キロ 4.3 km）を総勢 5 名でつたい歩きする。なお、東急電鉄（プラスみなとみらい線）は、第 45 編として”**日本横断歩き鉄の旅” PDF 読本**をカッシー館に本年 7 月 20 日公開済みの路線である。本日は、大岡山まで鉄道つたい歩きに加え、同窓後輩の伴真弓（**ケーキ教室の先生**）さん宅にお邪魔し、手作りの庭や料理専門家の美味しいランチをご馳走になるイベントもあったので、少なくとも 12 時 15 分位には大岡山駅に到着する必要があった。そして、歩かないメンバー 3 名と大岡山駅で合流し、伴さん宅にお邪魔する運びであった。それ故、本日はいつもと大きく異なり時間に追われる歩きを余儀なくされた。ラッキーにも、お忙しい中伴さんに大岡山駅まで出迎えて頂く。



※大岡山駅（総勢 9 名）



※伴さん宅

各駅舎到着時刻は次の通り。

目黒（10：17）～不動前（10：55）～武蔵小山（11：25）～西小山（11：44）
～洗足（11：57）～大岡山（12：19）

①目黒線（目黒～多摩川；この区間の線路は概ね地下）は2022年7月18日（月）に単独で踏破したばかりなので、沿線の残像がかなり残っていた。ただし、目黒駅から不動前駅については、前回の行程とは異なる道筋で臨んだこともあり、本日は引き返す場面が生じ、10分位ロスタイムが生じる。この区間に関しては、何人もの道筋で出会った方のお世話になりやっと到着できる。また、12時過ぎ、大岡山駅で待ち合わせの関係から、西小山駅からの歩きは3名となった。これで通算営業キロは、**1万4千29km（活動日数688日、日本の鉄道の50.6%、地球円周の35%）**となる。



※目黒駅



※不動前駅への路



※不動前駅、武蔵小山駅



※武蔵小山商店街、西小山駅



※洗足駅、大岡山駅への路



※大岡山駅への路

②12時19分、大岡山駅前で集合写真撮影後、伴さん宅にお邪魔し、トトロを全面に醸し出した手作りの創意工夫した、素晴らしい庭園を鑑賞させて頂く。この庭園は関東桜紫会会報の第22号にトピックス([グランマの妄想から生まれた](#)

モザイク画)として掲載されている。私は本年3月27日(日)以来2度目の鑑賞。何回観ても感動また感動であった。





③30 分位鑑賞後、屋内に入り、不要になった日用品などを創意工夫して創り上げた作品を披露頂く。そして、専門家の料理を堪能させて頂きながら楽しいひと時を過ごさせて頂く。また、手作りケーキもご馳走になる。





④あつと間にお暇の 16 時となる。歩きあり、鑑賞あり、ご馳走ありで楽しい楽しい一日となった。お忙しい中、8 名もの同窓のメンバーをお招き頂いた伴さんには、この場をお借りし熱く厚く御礼申し上げます。また、コロナ禍の中、本日参加頂いた各位に感謝の気持ちで一杯となる。次回の第 89 回わいわい会は 2023 年 3 月 9 日（火）、荒川都電荒川線歩き（リベンジ）で、再会しましょうで幕となる。



※参加者全員が撮影スポットで伴さんとツーショット！！

(^^♪・・・・・・・・(^^♪・・・・・・・・

早速、撮り鉄達人の植松良治氏（関西桜紫会メンバー）より心温まるメールを恵送頂きました。ご紹介します。

おはようございます。カッシー館、覗かせていただきました。伴ちゃん宅での集会、賑やかですね！懐かしい、門口さんのお姿、また、遠く浜松から出席の姉さんも、はずんでる様子が伝わってきます。トトロの前での、カッシーと伴ちゃんのツーショット、それにしても、伴ちゃん宅のお洒落な庭も凄いデスね！さて、わいわい会の訪問先は、三保の松原とのこと、後は、当日の天気を期待して、富士山が臨めることを祈るばかりです。夏が待ち遠しい！

〇あとがき

最後までお読み頂きありがとうございました。これまで7回中止となっているわいわい会を、ウイズコロナを鑑み、**100 回**に向けて2022年7月21日（木）新たなスタートを切りました。今後とも、コロナ禍の中、うまく共存しながらわいわい会を盛り上げるため、愉快的情報誌を目指し「わいわい道中記」の執筆活動でも鋭意努力していく所存です。そのためには皆様のご協力に加え、多くの登場人物が不可欠です。皆様の積極的な参加をお待ちしております。今後とも“わいわい会”に一層のご鞭撻・ご指導をお願いします。

以上

2022年12月吉日
高松一高関東桜紫会
わいわい会主幹事 榎原 勉

同好会活動のひとつであります「わいわい会」は、高松一高関東同窓会や幹事会などと同様重要なイベントと考えます。また、わいわい会は関東桜紫会会員などの皆様に支えられています。

2022年5月23日（金）臨時わいわい会で東急世田谷線を5名で歩きました。

